

週間漁海況情報—第41号

平成26年10月20日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

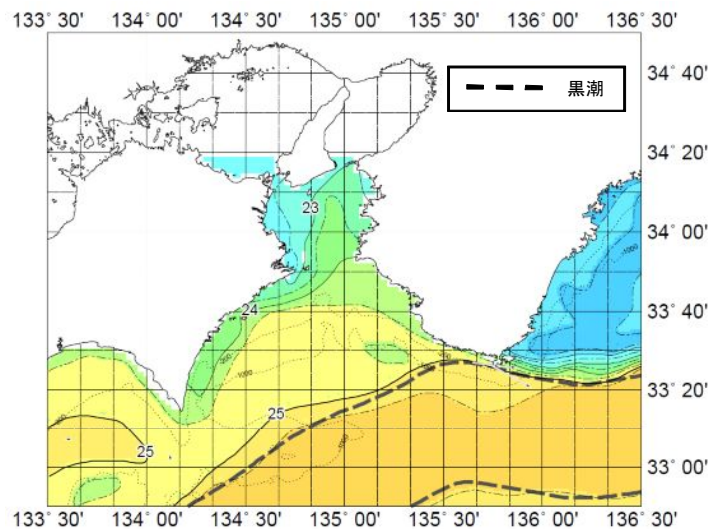
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.10.20）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、やや離岸、潮岬沖で接岸している。

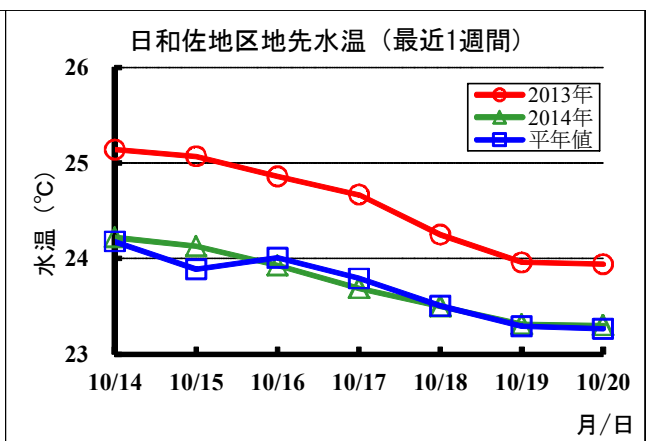
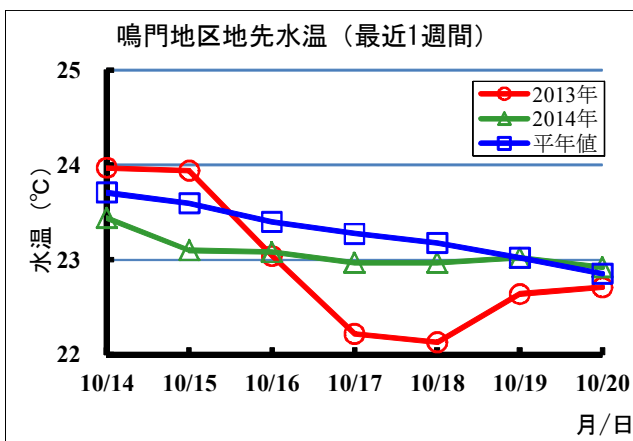
黒潮主流の表面水温は25℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で22℃台、紀伊水道では22～24℃台、海部沿岸は22～24℃台である。紀伊水道外域への暖水流入は確認できない。



漁業調査船「とくしま」で10月15日に行った播磨灘海区の海洋観測では、表層では「低め」の23.3℃、10～30m層は「やや低め」の23.4～23.5℃であった。

播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
10/15	今年値	23.3	23.4	23.4	23.5	31.1	31.3	31.4	31.6
	平年偏差	-1.6	-1.4	-1.3	-1.2	-0.7	-0.5	-0.4	-0.4
	前年偏差	-2.1	-1.7	-1.6	-1.5	0.1	0.3	0.2	0.1



地先水温 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の22.9～23.4℃、日和佐地区は「平年並み」の23.3～24.2℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の23.3～25.5℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にサワラが0.4トン（1日1隻当たり27kg）、大主体にキダイが0.6トン（同27kg）、大主体にサバフグが0.4トン（同52kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でカワハギが0.2トン（同4kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で中・小主体にマアジが0.8トン（同35kg）、小主体にマルアジが0.3トン（同28kg）、ヒラソウダが1.3トン（同52kg）、カマス類が0.3トン（同15kg）、小主体にタチウオが0.4トン（同31kg）、水揚げされた。

釣り：海部沿岸でタチウオが0.3トン（同16kg）、メジロが0.2トン（同15kg）、紀伊水道で中主体にサワラが0.3トン（同31kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが15.5トン（同250kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年10月13日～2014年10月19日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サワラ	15	409	27	大主体
		キダイ	22	596	27	大主体
		サバフグ	8	413	52	大主体
建網		カワハギ	56	243	4	
小型定置網	海部沿岸	マアジ	22	765	35	中・小主体
		マルアジ	12	330	28	小主体
		ヒラソウダ	25	1,301	52	
		カマス類	19	291	15	
		タチウオ	14	438	31	小主体
		タチウオ	16	255	16	
		メジロ	14	204	15	
釣り	紀伊水道	サワラ	11	340	31	中主体
		シラス	62	15,500	250	
パッチ網						

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の10月14日～10月20日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にキダイが0.2トン、大主体にサバフグが0.2トン、小型定置網で、メジナが0.2トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが11.6トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の22℃台、日和佐地先で「平年並」の22～23℃台で推移する見込み。